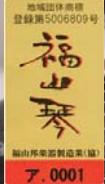


琴のふるさとふくやま



福山琴は全国生産量の70%を占め、楽器として初めて伝統的工芸品に指定されました。

日本一の福山琴の歴史

福山琴の歴史は、元和五年（1619年）水野勝成（徳川家康のいとこ）が福山に城を築いた頃に始まると言われています。江戸時代の城下町では、武士や町人の子女の芸事が盛んであり、備後十万石の城下町福山でも水野・松平・阿部と続いた歴代藩主の奨励もあって、歌謡・音曲が盛んに行われました。江戸の終わり、文化年間には京都で箏曲を伝授された琴の名手、葛原勾当が帰郷して備後・備中120あまりの町村をまわり、その弟子の数580余名、その影響もあり福山を中心として、早くから琴が生産される土壤が出来たと言われています。また、「春の海」で有名な箏曲家、宮城道雄の父、菅国治郎は福山・鞆の浦の人で、先祖代々の墓は鞆の南禅坊にあります。全国生産量の70%を占め、楽器として初めて伝統的工芸品に指定された福山琴は、瀬戸内海のちょうど真ん中に位置する風光明媚な城下町、福山で生まれます。



葛原勾当
(1812-1882)



宮城道雄
(1894-1956)

福山琴・日本の伝統美と技

— ほり・まきえ・こう —

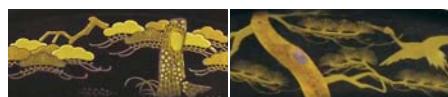
彫

琴の甲の裏面に施す極めて精緻な装飾模様の彫りは、音響効果と装飾効果の上で大きな役割を果たしています。種類としては、超高級品の麻型掘りをはじめとして、子持綾杉彫り・綾杉彫り・簾れ目彫りがあります。



蒔絵

琴の装飾部分で重要な役割を果たすのが蒔絵です。蒔絵は、漆で文様を描き、あるいは地塗りを施し、金・銀・スズ粉等を蒔き付けたもので、漆を使う技法の中でも最も美術的で世界が認める日本独特的工芸です。琴では竜舌や磯の部分にこの蒔絵が使われ、琴に華麗で繊細な美を与えてくれます。



甲

琴の等級を決める上で一番重要な基準が甲の木目の複雑さです。複雑な木目が現れている琴が高級品とみなされ、音色も良いとされています。また、木目の浮き出し具合、焼きの色具合や艶も美しい甲の条件です。



● 板付（裏板）



● 彫り



● 剥り



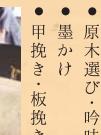
03 甲造工程



02 乾燥工程



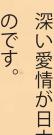
01 製材工程



● 墨かけ

● 甲挽き・板挽き

● 原木選び・吟味



● 焼き

● 金具取付
(丸型 竜脚)



● 仕上げ工程



● 飾りつけ
(丸型 竜脚)



05 仕上げ工程



04 装飾工程



● 飾りつけ
(柏葉)

原木の桐選びからはじまる琴の製造工程は、桐材の乾燥までに約1年。その後、甲の削り・彫り・焼き・磨きへと続き、装飾工程の飾り付け・蒔絵、そして仕上げの金具付け・調整となります。この工程のほとんどが熟練した琴職人の手作業で丹念に仕上げられます。気の遠くなるような時間と確かな技術、そして何よりも琴に対する深い愛情が日本一の福山琴を生み、琴を育てるのです。

福山琴の製作工程が見学できる工場

有限会社 藤井琴製作所 福山市御幸町下岩成 735-1 TEL・FAX 084-955-5895
— お申し込みは、TELまたはFAXでお願いいたします。 —

福山琴の製作工程
— 琴を生み 琴を育てる —

くずはらこうどう

葛原勾当 (1812 ~ 1882)



備後国安郡八尋村（現・福山市神辺町八尋）に、庄屋矢田重知の長男として生まれました。号は一泉、名は重美と言います。

3歳の時に天然痘をわざらい失明。9歳から隣村の後月郡大江村（現・岡山県井原市）の瞽女（ごぜ）キクに琴と三味線を習い始めました。本格的に音楽で身を立てるため、11歳の時、母に付き添われて京都の生田流松野勾当（のち検校）に師事しました。他に菊岡検校、光崎検校、八重崎検校の教えも受けたことがあります。

15歳で帰郷してからは、箏曲の教授を開始して生計としました。弟子に稽古をつけるかたわら自らも京都へ上り、新曲の稽古につとめ、帰郷と同時に新曲を弟子に稽古させました。それは22歳で「勾当」の位を得た後も続き、通算9回も往復しています。生田流箏曲が現在も三備地方に根付いているのは、足繁く西へ、東へ奔走した葛原勾当の功績であります。

1882年（明治15年）に没するまで、勾当が備忘録として残した日記は「葛原勾当日記」として現存しています。また、26歳から自ら考案した木活字で捺字し、それらの日記3帖11冊と印刷用具は広島県重要文化財に指定されています。

なお、昭和12年、来日したヘレン・ケラー女史も、勾当の発明した印刷用具に触れ、東洋のタイプライターと称して激賞されておられます。

また、勾当は日本でも最古級であろうと言われている折り紙を60点以上残していますが、2014年8月東京で開催された「第6回折り紙の科学・数学・教育国際会議」において世界に紹介されました。

みやぎみちお

宮城道雄 (1894 ~ 1956)



兵庫県神戸市三宮に、菅国治郎とアサの長男として生まれました。

父親は広島県沼隈郡鞆町（現・福山市鞆町）の出身で分部氏の次男でした。宮城道雄は、生後200日頃から眼病を患い、4歳の頃には母と離別し、主に祖母ミネによって育てられました。8歳で失明の宣告を受けましたが、ミネのはげましを受けて、志を箏曲の道に立てて、二代目中島検校の門に入りました。その後、現・韓国のインチョン（仁川）、ソウル（京城）を経て、東京に居を定めて、ひたすらに邦楽の真髄を追及して新日本音楽の新境地を確立し、その名は世界に知られることとなりました。

宮城音楽の不朽の名作「春の海」は、その代表的な曲であり、正月には必ずと言って良いほど耳にする名曲です。

「鞆ノ津」という隨筆冒頭に、次のように記されていますので紹介いたします。

「私の家は、先祖から広島県の鞆であった。昔は屋号を網干屋と云ったさうであるが、父と母が神戸へ出てきて、間もなく私が生まれたので、私は神戸生まれとなつてゐるが、自分としては、やはり先祖からの鞆を故郷のやうに思つてゐる。」

また、先祖の墓がある福山市鞆町南禪坊には宮城道雄碑があり、次のような件が記されています。

「祖母ミネは幼くして母と生き別れた道雄を育て八才で失明の宣告を受けて 箏曲の世界に自らの道を定めた道雄を支えたのである ミネは寝物語に備後の有名な盲人箏曲家葛原勾当の話を聞いて道雄をはげまし 勾当の孫で童謡作家の葛原鉢も道雄を支援したひとりであった」

葛原しげると宮城道雄の名コンビによって98曲もの童曲が生み出されており、合唱合奏曲で有名な「春の賦」も代表曲のひとつです。

これらから、宮城道雄と鞆の浦、葛原勾当・しげると深い関連があったことが判ります。

琴にまつわる福山ゆかりの地・著名人

くずはらしげる

葛原しげる (1886 ~ 1961)



葛原邸



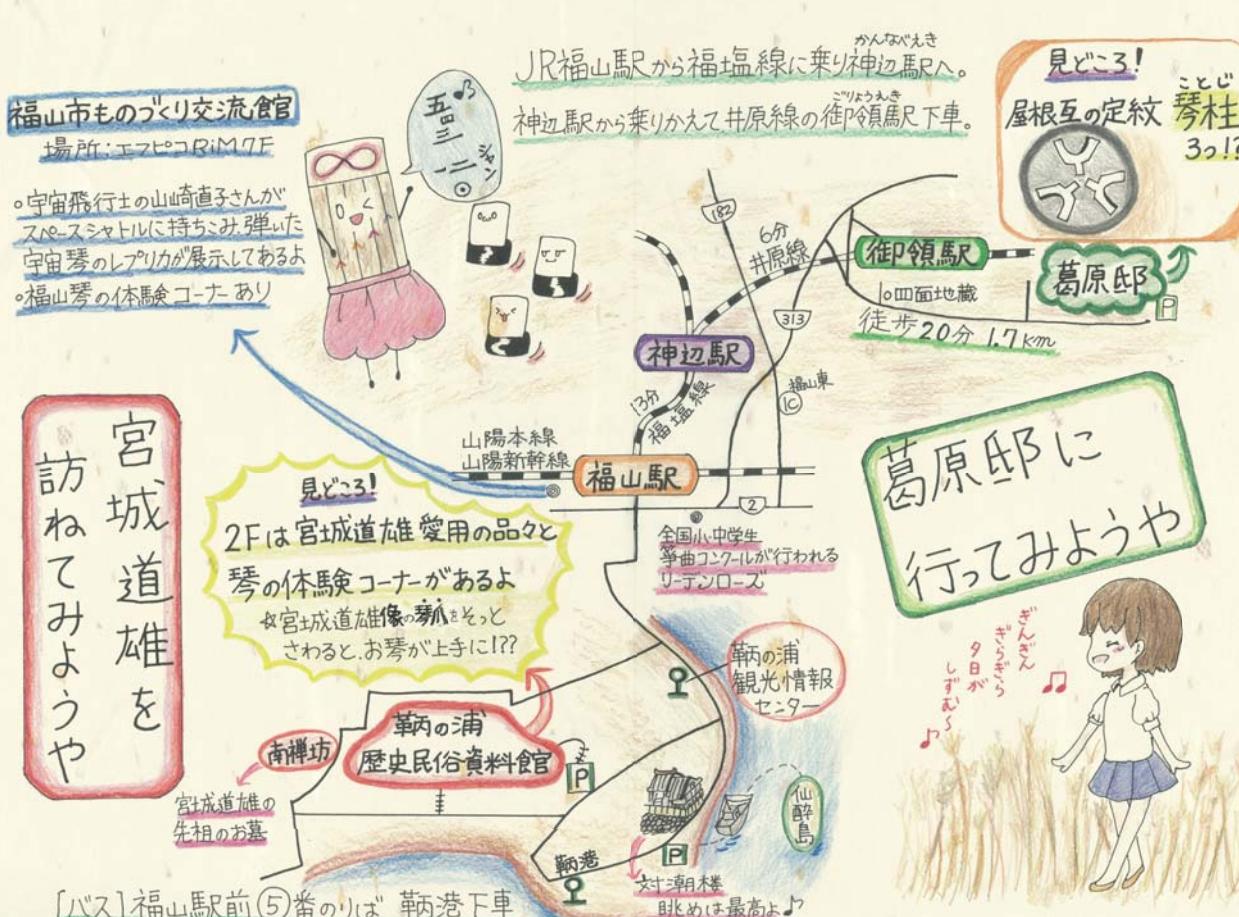
葛原しげる童謡歌碑

福山市神辺町八尋に、父二郎の次男として生まれました。祖父は盲目の琴の名手、葛原勾当です。安那高等小学校3年を終了、18歳の時福山中学校（現・福山誠之館高校）を卒業。更に東京高等師範学校（現・筑波大学）を卒業されました。

その後、九段精華訓導、同理事、跡見女学校（現・跡見学園）講師などで教壇に立ちながら、同文館、その後博文館にも勤めて、「少年世界」他の編集に携わり、自らも雑誌などに童謡を発表されました。代表作品には、広く知られる「夕日」があります。この詩は最初「きんきんきらきら」でしたが、長女に「夕日は“ぎんぎんぎらぎら”でしょう」と言られて変更、1921年（大正10年）、室崎琴月作曲でレコード発売され、全国的に有名になりました。

1945年（昭和20年）28年間勤務した九段精華が戦火で焼失、廃校となり、福山市神辺町八尋に帰郷（疎開）しました。翌1946年（昭和21年）私立至誠高等女学校（現・県立戸手高等学校）の校長に就任され、1960年（昭和35年）勇退されるまで、郷土の子女教育に尽力されました。「いつもニコニコピンピン」をモットーに、周囲からは「ニコピン先生」と呼ばれ親しまれました。

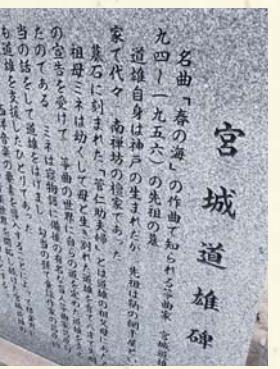
1959年（昭和34年）に藍綬褒賞を受賞、1970年（昭和45年）に福山市名誉市民になられておられます。作詞した童謡唱歌は3000篇とも4000篇とも言われ、童謡の代表作「夕日」の他に「とんび」「村祭」「兎と狸」「キューピーさん」「羽衣」「春の賦」（宮城道雄作曲）、「花は薰るよ」（ボイスカウト日本連盟歌）などがあります。また、依頼されて全国約400校の校歌の作詞も手がけておられます。



南禪坊



宮城道雄碑



きつかわえいし

吉川英士 (1909 ~ 2006)



福山市神辺町字上御領に生まれ、御野小学校を卒業されました。

その後、兄に従って山口市、福岡市において学ばれ、更に東京帝国大学を卒業して、以来東京に在住されました。

多年に亘る学問研究と日本東洋音楽の研究発展に尽くされた功績は数々あります。

吉川英士（音楽評論家）は、「日本音楽の性格」などの著作で、日本音楽史、芸能史に大きな発展をもたらし、伝統音楽の芸術的価値を説き続け、今日の邦楽の隆盛に大きく貢献しました。

東京芸術大学教授、NHK邦楽解説者、文化庁芸術祭執行委員会委員長などを歴任、東京都新宿区中町にある（財）宮城道雄記念館の初代館長になられておられます。

1979年（昭和54年）に勲三等瑞宝章、1993年（平成5年）に文化功労章頭彰を受賞、1994年（平成6年）に福山市名誉市民になられておられます。

著作に「日本音楽の性格」をはじめ、「宮城道雄伝」「日本音楽の歴史」「日本音楽文化史」「日本音楽の美的研究」などがあります。



宮城道雄記念館

©宮城道雄記念館

葛原勾当・葛原しげるを詳しく知りたい方へ



【葛原邸】広島県福山市神辺町大字八尋 1220-1

[問い合わせ先]

葛原邸

TEL 084-965-6111 (土・日のみ)

神辺町観光協会

TEL 084-963-2230 (平日 午前10時～午後3時)

見どころ：邸内には、葛原勾当・葛原しげるに関する資料を多数展示しています。

駐車場：敷地内に乗用車20台程度（無料）

ガイド：毎月第1から第4の土・日、午前10時から午後4時まで開いています。

ガイドが必要な場合は、1週間前までに神辺町観光協会まで電話予約してください。

年末年始・お盆休みは休館します。

箏曲の演奏会を行いたい方へ



【ふくやま芸術文化ホール（リーデンローズ）】

広島県福山市松浜町 2-1-10

[問い合わせ先]

公益財団法人 ふくやま芸術文化振興財団

（リーデンローズ内）

TEL 084-928-1800

特徴：中国地方最大のコンサートホール。2003席の大ホールと312席の小ホールを備え、大ホールの設計にあたっては東京文化会館の大ホールがモデルとして採用されています。残響時間は2.0～1.6秒（500Hz、満席時実測値）となっており、可動型のステージ音響反射板と客席側壁の一部にもカーテン開閉方式の簡易な残響調整装置で、箏曲の演奏にも適した調整ができるようになっています。

駐車場：福山市松浜町駐車場

駐車台数 175台（有料）

休館日：月曜日（祝休日の場合翌日）



福山琴を購入されたい方々へ



福山琴の購入については、福山邦楽器製造業協同組合の組合員をご紹介いたします。

【福山邦楽器製造業協同組合】

・(有)小田琴製作所 TEL 084-958-3951

・三島楽器 TEL 084-951-2708

・小川楽器製造(株) TEL 084-924-1150

・藤田琴製作所 TEL 084-941-6745

・(有)藤井琴製作所 TEL 084-955-5895

全国小・中学生箏曲コンクールのご紹介

福山市では、小・中学生を対象とした全国で最も有名な大会として、年一回ふくやまリーデンローズにて実施されています。箏曲演奏家の登竜門として毎年、全国から練習を積み重ねた小・中学生が集まります。

【コンクールの目的】

日本の伝統的和楽器・琴を用いた全国小・中学校箏曲コンクールを開催することで、児童・生徒の健全な育成、全国の小・中学生の琴演奏技術の向上と併せて、福山琴を全国に発信します。

【応募資格】

個人の部：小・中学生 / 団体の部：小・中学生の琴クラブまたはサークル

【問い合わせ・申し込み】

主催：全国小・中学生箏曲コンクール実行委員会

広島県福山市松浜町 2-1-10（リーデンローズ内） Tel 084-928-1815



宮城道雄を詳しく知りたい方へ



【福山市鞆の浦歴史民俗資料館】

広島県福山市鞆町後地 536-1

[問い合わせ先]

福山市鞆の浦歴史民俗資料館

TEL 084-982-1121

見どころ：資料館2階に宮城道雄に関する資料を展示しています。

資料館の敷地内に「聖潔 宮城道雄先生像」があります。

駐車場：福山市鞆の浦駐車場

駐車台数 25台（有料）

見学：午前9時～午後5時

（入館は午後4時半まで）

休館日：毎週月曜日

※月曜日が祝日のときは翌日



【南禅坊】

広島県福山市鞆町後地 1339

[問い合わせ先]

南禅坊

TEL 084-982-3042

見どころ：境内に宮城道雄の先祖の墓と宮城道雄碑があります。

駐車場：ありません。鞆の浦第一駐車場・第二駐車場に車を停めて散策してください。

見学：寺院ですので、見学には充分配慮してください。



【宮城道雄記念館】

東京都新宿区中町 35番地

[問い合わせ先]

一般財団法人 宮城道雄記念館

TEL 03-3269-0208

見どころ：宮城道雄の偉業を顕彰するとともに、今後の日本音楽の発展に寄与するため、昭和53年（1978）12月6日、故人が晩年まで住んでいた敷地に建設された、日本で最初の音楽家の記念館です。書斎「検校の間」（昭和23年建築）は国登録有形文化財です。

交通：都営大江戸線牛込神楽坂 A2出口より徒歩3分

見学：午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休館日：毎週日・月・火曜日・祝日

春季休館（3月25日～3月27日）

夏季休館（8月1日～8月10日）

年末年始休館（12月25日～1月5日）

※他に館の都合による臨時休館あり



制作：福山市観光客誘致協議会

協力：福山邦楽器製造業協同組合・葛原文化保存会・神辺町観光協会・福山鞆の浦歴史民俗

資料館・南禅坊・（一財）宮城道雄記念館・（公財）ふくやま芸術文化振興財団

福山市ものづくり交流館